



いぶき 第97号
 発行者 吉野公博
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<https://www.kagawah.johas.go.jp>

膵臓について

内科副部長 石田 正也



飲酒、肥満、糖尿病、診療や検査で膵臓の病気(慢性膵炎、膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)、膵のう胞)と言われたことのある方も膵臓のリスクとなります。

・症状

膵臓の症状は腹痛や背部痛、食欲不振、体重減少、黄疸(目や皮膚が黄色くなる)といった症状があります。これまで治療していた糖尿病が急に悪くなったため、調べたところ膵臓が見つかることもあります。

・検査

血液検査では膵臓の酵素や腫瘍マーカーを調べます。腹部超音波検査は検診でも広く行われている検査です。それだけで早期に診断することは難しいですが、

腹部超音波検査で膵臓になんらかの所見があれば、精密検査を受けるように勧められ、膵臓早期発見の一助となります。

・膵臓のリスク

膵臓には様々なリスクが指摘されています。膵臓の方の5〜10%に家族歴があるといわれています。喫煙、

症状がなくても、膵臓のリスクがある方、血液や腹部超音波検査で異常がある方は、さらに詳しい検査として造影CT検査、MRI(MRCP)検査、超音波内視鏡検査が行われます。

超音波内視鏡検査は胃カメラの先端に超音波検査がついている内視鏡で、胃カメラより一回り太いですが、胃の中から膵臓を超音波で確認することができ、小さい膵臓でも発見することができます。また、この内視鏡の先端から針を出して組織を採取することで膵臓と診断ができます。

・早期発見のために

検診の検査で異常を指摘された方には、これらの複数の画像検査を用いて検査します。検査で問題なかったとしても、膵臓のリスクの高い方には、早期に発見できるように定期的な検査が勧められています。

・治療

治療の中心は手術や抗がん剤治療です。手術が根本的な治療になりますが、見つ

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
 安全で安心のよりよい
 医療と看護を提供します

かった時には進行しており、手術ができないことが多くあります。また、膵臓は切除をしたとしても、術後の再発率が高いとされています。そのため、切除可能と判断された膵臓でも手術前や手術後に化学療法をすることが推奨されています。

・さいごに

膵臓に関しては診断から治療、緩和ケアにおいて医師、歯科医師、病理医、放射線診断医、薬剤師、緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師など多くの医療スタッフが携わり患者さまをサポートします。ご相談等ありましたら、当科にお問い合わせください。

ご存じですか？アピアランスケア！

がん放射線療法看護認定看護師 下岡あずさ

アピアランスケアとは？

がん治療による見た目の変化を補い、患者さんが自分らしく前向きに過ごせるようお手伝いをすることを言います。

外見の変化がもたらす影響は？

「自分に自信がなくなつた」「人に会いたくない」「生活に不安を感じる」など、気持ちの辛さを感じる方も少なくありません。どんなサポートがあるの？

ウィッグや帽子の提案、肌や爪の変化への対処方法やメイクの工夫のアドバイス、手術による変化をカバーする方法のなど、外見の変化に対する気持ちのサポートを行います。

独りで悩まないで！

外見が変わることは誰にとつても簡単なことではありません。けれどもそれに向き合う方法や支援は沢山あります。大切なのは「独りで抱え込まないこと」です。困った時は遠慮せずにご相談下さい。

誰に相談すればいい？

院内のがん相談支援センターや専門の医療スタッフにご相談ください。



取り組んでみよう！フレイル予防教室で認知症予防

認知症看護特定認定看護師 吉川 明美

フレイルとは、「虚弱の状態」のことをいいます。フレイルには身体の虚弱、こころ／認知の虚弱、社会性の虚弱の3つの要素があります。近年の国の調査では、要介護の要因となる最も多い疾患は認知症でした。こころ／認知の虚弱の1つに認知機能低下があります。認知機能低下をそのままにしておくと、認知症へと進行するリスクが高くなります。認知機能が低下していても、頭の体操や社会とのかわりを増やすことで、認知機能の改善や、認知症への進行を遅らすことができます。

当院では「フレイル予防教室」を開催しており、頭の体操や脳トレ・トレーニングを参加者の皆さんと楽しく行っています。日常の隙間時間にもできる体操をして認知症予防に取り組んでみませんか。フレイル予防教室では認知症予防だけでなく、嚥下機能低下の予防、糖尿病予防、失禁予防・体幹トレーニングの運動も行っております。教室への参加をお待ちしております。

開催日	内容
7月15日(火)	「食」からはじめよう、フレイル予防
9月16日(火)	かんたん 指の体操で認知症予防
10月21日(火)	「下半身ケア」で効果的なフレイル予防
11月18日(火)	体幹を鍛えてきれいな姿勢をつくろう
1月20日(火)	今すぐできるフレイル予防

場所：2階 情報コーナー
日時：第3火曜日 11時～15分程度

お知らせ

採用情報

香川労災病院は現在、職員を募集しております。募集職種や詳細については、当院のホームページ「採用情報」をご確認ください。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。皆様のご連絡をお待ちしております。

ボランティアさん大募集

当院ではボランティアさんを大募集中です。患者さんのスムーズな受診のサポートや、ほっとするお声がけなどのお手伝いをお願いしています。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。ご連絡をお待ちしております。

【連絡先】

香川労災病院 総務課
TEL：087712313111

連載 3

瀬戸内から世界へ 風土とつくる現代サーカス

一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー代表理事

田中未知子

こんにちは、瀬戸内サーカスファクトリー代表の田中未知子です。15年前に香川県に単身移住し「現代サーカス」を日本で発展させるための活動を続けています。

現代サーカスという、フランス発祥の新しい芸術を日本に紹介するために、日本初の現代サーカス専門書「サーカスに逢いたい」を2009年に出版し、その頃に新潟の越後妻有大地の芸術祭、続いて2010年に第1回瀬戸内国際芸術祭の舞台芸術担当として働き

ました。北海道出身の私にとって、これが初めての四国上陸でした。芸術祭の仕事で小豆島の農村歌舞伎の方々と出逢い、日常は会社勤めをしながら、幼少期から骨身に沁みこんだ「芸」が中からあふれ出る様子に感動し「芸能が血肉になっている、こんな地域で自分の現代サーカスの活動を始めた」と思いました。農村歌舞伎、獅子舞など数多くの地域芸能や祭りを訪

ね、地域ぐるみで子どもたちにも芸を教える大人たちが一体となり、まさに地域芸能がコミュニティを存続させている様子に感銘を受けました。

芸術祭の仕事を終え、2011年に独立して香川県に単身移住し、いよいよ現代サーカス発信の事業に着手しました。



100年サーカス

とはいえ、そもそも「現代サーカス」自体が日本にまだ、無かったのです。親戚もいない、知り合いもわずかしいない地域で、全く新しい芸術を誕生させようという挑戦です。無謀だとか、夢物語と笑う人も、もちろんいました。ですが、香川で出逢った方々の多く

が「えっ？サーカス？…面白そう」と目を輝かせてくれました。何者かもわからないような私に手を差し伸べ、一緒にやりたいと言ってくださる方が出てきました。2012年秋、初の大きな試みとして、ことん仏生山工場を2日間、現代サーカスの芝居小屋にするという企画を実行しました。こと

ん100年の記念の年でもあり、「100年サーカス」と名付け、フランスと日本のサーカスアーティストを招き、1日で600人を超える観客を集め、そして多くのメディアの取材を受けました。この公演の実

行委員会が、瀬戸内サーカスファクトリー設立初期メンバーになったのです。

当時はもちろんまだ、香川県にプロのサーカスアーティストはいませんでした。それでも瀬戸内サーカスファクトリーでは年に1〜2つの創作作品をつくり、そのたびに日本や海外からアーティストを招いて公演を

行ってきました。2015年には、日本初の現代サーカスフェスティバル「SETO LA PISTE」を開催。3年間は高松市で、2年間は琴平町で開催しました。この実績が認められ、EUが出資する欧州ネットワーク「CIRCO STRADA・シルコストラダ」(世界40か国150団体以上が加入)のアジア初の正規メンバーに認定されました。日本では認知度が低い現代サーカスですが、ヨーロッパを中心に世界では非常に多くの国で発展している芸術なのです。

フェスティバルの開催は国際的な認知度を上げてくれましたが、地元での認知



2019年第5回国際創作サーカスフェスティバル [SETO LA PISTE]

度は上がらず5年目に大きな挫折が。2019年末、フェスティバルの経済的負担が、法人運営に大きな打撃を与えたのです。

自分は現代サーカスが発展しているフランスで活動を始めたいので、このジャンルが成功を納めるために何が必要かを見てきて、その起爆剤としてフェスティバル開催が必須だと信じていました。が、ついに「辞める」という判断をし、父が緊急入院を繰り返していた時期でもあり、年末に故郷の北海道に戻りました。もう、自分には続ける資格はないと思ったのです。

ところが正月を迎え、退



欧州ネットワーク「シルコストラダ」来日、高松市長表敬訪問

田中未知子氏プロフィール



(一社)瀬戸内サーカスフアクトリー代表理事。札幌市出身。2011年に香川県に移住し瀬戸内サーカスフアクトリー立ち上げ、2014年に法人化。現代サーカスを通じて、地域とともに新しい文化を創造している。

院してきた父が言うではありませんか。「北海道に帰ってきてはダメだ。10年間頑張ったことが水の泡になっちゃおうよ」と。その言葉ではっきりと、自分は辞めたいのではないのだとわかってきました。実際、状況が何か変わったわけではないのですが、香川に戻ることを決め、一度は「法人休止」を理解してくれた香川の理事たちも、それを伝えると皆一様に大喜び。その反応が、涙が出るほど嬉しかったです。さあ！心機一転、すべてリセットして頑張る！と決めたときにコロナがやってきました。

ていたので、コロナがきても、自分ひとりは何とか生きられれば良い状態でした。さらに、コロナで活動場所を失ったプロのアーティストたちが、日本各地から活動場所を求めて次々に香川に移住し、瀬戸内サーカスフアクトリーに合流してきてたので



2014年日仏共同製作「キャバレー」

今号のニューボーンフォト

当院で誕生したかわいい3名のかわいい赤ちゃんをご紹介します。ご出産、ご誕生おめでとうございます。



写真は、希望された方のみ掲載しております。ニューボーンフォトにご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



編集だより

患者サービス向上委員 松成菜穂子

梅雨が明け、本格的な暑さを迎えました。体調はいかがでしょう。夏バテや熱中症に気をつけてお過ごしください。

さて当院では今年度もロビーコンサート、オープンホスピタルなど様々なイベントを計画しています。開催時にはぜひ奮ってご参加ください。

広報誌「いぶき」ではこれからも当院の取り組みをお届けします。ご意見、ご感想ありましたらお気軽にお問い合わせください。

